



▶「今年はどうかな」

地域の活性化やスポーツの発展に顕著な功績があつた個人・団体を顕彰する「日本海新聞ふるさと大賞2014」(主催：日本海新聞ふるさと創り事業団、共催：県内各市

地域を明るく、 元気に ふるさと大賞受賞

町村)の表彰式が、2月24日(火)に名和公民館で行われました。

『地域貢献賞』は「ボランティア・ロード中山女性グループ」「とんトン倶楽部」の2団体が受賞し、『スポーツ功労賞』は、空手道の千葉風彩さん、ボート競技の野口皓平さんが受賞されました。

受賞者を代表して中山女性グループの森本怜子さんが、「私たちの活動に光をあててもらい感謝します。今後も地域を大事にする気持ちを持ち続けたい」と挨拶されました。



▶今後の活躍も期待しています！

今年の占いの結果は？

逢坂八幡神社・管粥神事

江戸時代から続く伝統の「管粥神事」が、3月5日(木)に逢坂八幡神社(松河原)で行われました。

白米と24本の竹筒を鉄鍋で煮て、竹筒に詰まった粥の量を占うもので、粥の量が多いほど豊作とされています。

各集落の区長、総代の皆さんが見守る中、太田貴能禰宜が竹筒を割って確認していき

ました。梅や梨は十分で「豊作」と出ましたが、特産のブロッコリーは残念ながら一分。農作物全般を占う『大年(おとし)』の竹は六分という結果でした。

総代長を務める金田吉人(松河原)さんは、「一分も努力すれば十分になるといふことのお告げ。全体としては良い結果が出た。いい一年になると思う」と話されました。

活躍を期待します

「自衛隊入隊者激励会」が2月18日(水)に役場本庁で行われました。入隊者は松田英和さん(御来屋)で、3月末から北部方面隊要員として入隊されます。

松田さんは企業で働いていましたが、自衛官の夢を叶えたいと難関を突破。「企業での経験もいかしてがんばります」と、決意を述べられました。

自衛官誕生！



▶松田英和さん

文部科学大臣表彰

名和公民館

名和公民館が「第67回優良公民館文部科学大臣表彰」をこのたび受賞しました。

今回の表彰は、名和公民館の通学合宿事業や動植物の自然観察会、ものづくり体験などを活用した「ふるさと学習」の実践などの事業が対象になりました。地域のことや地域社会に関心のない子どもたちが増えつつある中、自ら住み暮らす地域を愛する心を育み、また地域も相乗的に活性化するという取り組みが評価されたものです。



▲これからもがんばります！(名和公民館職員一同)